

## 交通安全街頭啓発を行いました！



秋の交通安全街頭啓発

9月21日(水)午前10時から、平岸プール前の白石藻岩通りで、「秋の交通安全街頭啓発」を行い、南平岸地区の各町内会の皆さんをはじめ、交通安全実践会、交通安全母の会、PTAの皆さんなど、150名の方にお集まりいただき、「スピードダウン」などの旗を振って、ドライバーに安全運転を呼びかけました。



冬の交通安全街頭啓発

また、11月11日(金)午前10時から、平岸2条14丁目の平岸小学校前交差点で、豊平区役所から「地域学び隊」の若手職員3名も参加し、「冬の交通安全街頭啓発」を行いました。

肌寒い中、同じく98名の方にお集まりいただき、「飲酒運転撲滅」などの旗を振って、ドライバーに安全運転を呼びかけました。

## 豊平区と防災訓練の意見交換会を開催しました！

今年度、豊平区と南平岸町連が初の共催で実施した豊平区防災訓練の「意見交換会」を、10月7日(金)午後4時30分から、南平岸会館において、豊平区に加賀総務企画課長及び早川地域安全担当係長に出席していただき開催しました。

町連からは、町内会員の受付が来賓や身障者と一緒になり混雑したなどの意見があり、これに対し区からは、「貴重なご意見をいただき、次年度に向け工夫検討したい」との回答がありました。



## ごみ減量化・資源化についての情報交換会を開催しました！



11月1日(火)午後1時15分から、南平岸会館において、町連・きれいなまちづくり実行委員会主催で、札幌市環境局のごみ減量推進担当課長、資源化推進係長及び豊平清掃事務所長らを招き、標記情報交換会を開催しました。ごみ減量推進担当課長からは「札幌市の資源回収の取組」について、資源化推進係長からは「生ごみ水切りと堆肥化の実態」について説明がありました。その後の質疑では、「集団資源回収のアルミ缶は奨励金の対象となっていないのは何故か」との質問があり、市からは、「新聞紙の場合は取引価格が変動するため制度維持の必要性から奨励金を出すこととなったが、アルミ缶は相場が高いので市が制度を支えなくても維持できる」との回答がありました。

また、当町連きれいなまちづくり実行委員会の小田良廣さん(平岸高台中央町内会)からは、「ごみ減量化にむけての南平岸町連の取組」について説明があり、今年度の新たな取組として、参加者に対して、「生ごみ水切りグッズ」のモニターとしてアンケートの協力依頼がありました。アンケートでは、同実行委員会がピックアップした水切りグッズを使用した使い勝手や改良点などの声を募っています。

# みなみひらぎし

南平岸地区の状況(H27.1.1現在)  
世帯数：16,387世帯、人口：28,942人

南平岸地区 町内会連合会から

〈南平岸地区広報紙〉 第41号  
南平岸地区町内会連合会  
まちづくり会「いきいき南平岸」  
南平岸まちづくりセンター  
平岸2条14丁目1-26(☎814-1440)  
この広報紙は3者による共同発行です

## 中山副会長が札幌市自治振興功労者を受賞！

南平岸町連の中山幸子副会長(南平岸第二町内会会長)が、札幌市自治振興功労者として秋元札幌市長から表彰されました。11月21日(月)午後2時から札幌パークホテルで表彰式が行われ、町内会等の役員として多年にわたり地域の自治振興に貢献し、特にその功労が顕著であるとして札幌市自治振興功労者を受賞しました。(左から、三井豊平区長、中山町連副会長、末廣町連会長、木俣所長)



## 南平岸地区懇談会が開催されました！

11月18日(金)午後6時から、南平岸会館において、豊平区と町連による地区懇談会を開催しました。区からは、三井区長以下11名、町連からは末廣町連会長ほか25名が参加し、5つのテーマについて懇談しました。

旧自衛隊病院跡地の土地活用については、「公園などの地域住民に喜ばれる活用」を要望したことに対し、区からは、「良好な居住環境の形成を図ることとして、その趣旨を踏まえた土地利用がなされることが望ましく、今後も国と連携を図って情報収集をしていきたい」との回答がありました。

また、天神山緑地周辺の活用について区の考え方は、「天神山は区のシンボリックな資産として、町連としてもまちづくりやおもてなしの一環としての観点から天神山における盛り上げを期待していることから、区としても引き続き協力・支援を行っていききたい」との回答がありました。

「交通安全」では、「事故は着実に減少してきている」と前置きがあり、「9年の長きに亘り交通死亡事故が発生しなかった南平岸地区の取組に対して頭が下がる思い。今後とも、地域の交通安全に一層のご尽力をいただきたい」との回答がありました。

そのほか、「南平岸地区と平岸地区の境界」、「白石藻岩通りのバス路線の延長要望」について、意見交換をしました。



## ウォーキング南平岸 納会を開催しました！



10月27日(木)に、八剣山をのぞく「小金湯さくらの森」にて今年最後のウォーキングがあり、少し冷え込んだ秋の清々しい空気の中、67名が例会に参加しました。その後、羊ヶ丘展望ビール園で納会が行われ、今年度の例会は無事終了しました。

※ウォーキング南平岸では、南平岸地区の町内会会員を対象に、3月頃に回覧にて会員を募集する予定です。

## パークゴルフ愛好会 納会を開催しました！

南平岸パークゴルフ愛好会は、10月8日(土)に、今年からホームグラウンドとして利用した「ルルマップパークゴルフ場」で、74名が参加し納会を開催しました。このほか、9月～10月に4回の例会等を開催しました。

※南平岸パークゴルフ愛好会では、南平岸地区の町内会会員を対象に、1月頃に会員を募集する予定です。



## まちづくり会「いきいき南平岸」から

### 「福まち・いきいき教室」を開催しました!!

10月14日(金)午後1時30分から、南平岸会館において、まちづくり会「いきいき南平岸」と「南平岸地区福祉のまち推進センター」合同の研修会が開催され、地域の皆様56名が参加しました。

今回は、「生活支援コーディネーターについて」を豊平区社会福祉協議会次長の高谷亮介氏から、「認知症予防体操」を介護予防センター南平岸の田中優子氏から、「認知症について」を豊平区第3包括地域支援センターの上野由佳氏から説明がありました。

「生活支援コーディネーター」とは、行政、社協に加え地縁組織やNPO等を協議体として、足りない助け合い活動の創出や既存の社会資源ネットワーク活用などの仕組みを調整・開発するものとの説明があったほか、「認知症」を予防する指の体操を教えていただき、「認知症」と「加齢による物忘れ」との違いなどについても、学ぶことができました。



## 第3回天神山文化祭を開催しました！

10月9日(日)・10日(月・祝)の2日間、天神山アートスタジオで、まちづくり会「いきいき南平岸」と天神山アートスタジオの共催により、「第3回天神山文化祭」を開催しました。

オープニングセレモニーでは、西アフリカ帯で伝統的に演奏されている「ジャンベ」の演奏披露があり、体も自然とリズムに乗る華やかな幕開けとなりました。

会場では、地域の子どもたちや住民が作成したアートプレートやいけ花が展示されたほか、ラケットをスリッパに持ち替えて競技する「アートなピンポン大会」、「キャンドル&提灯ワークショップ」、「木工ワークショップ」、「いけ花体験ワークショップ」、天神山滞在アーティストによる「オープンスタジオ」など、豊富なワークショップが開催されました。

1日目は、恒例の「うわさんぽ」で「地域の長老編」を、2日目は「平岸の歴史を訪ねて編」を開催し、連日大勢の街歩きファンを引き連れて地域の探索を行いました。その後、弘前大学名誉教授の斎藤健一氏と札幌建築鑑賞会の杉浦正人氏を招き、「なぜ平岸はりんごの産地となったのか?キーワードは”石と水”」をテーマに公開座談会を開催し、地域の発展の歴史や地域のために尽力した人物などについて学びました。別室では、天神山周辺の歴史や過去の「うわさんぽ地域マップ」を展示する「うわさんぽ展」も、あわせて開催しました。

天神山アートスタジオでは、「喫茶天神山」を臨時開設し、おいしいコーヒー&ケーキセットを、薔薇やきのこなどは地域特産品の紹介を兼ねて、特別価格で提供しました。

また、今年初の取組として、1日目に精進川のりんご橋から天神山アートスタジオまでを、全て手作りの提灯を片手に子どもたちが練り歩いた後、親子2ピースバンド「sweet'n sour」と北海道大学「ビッグバンド北極」の2組の野外ジャズライブを行う「夜歩きフェス」を開催しました。終了後には、南平岸地区の「あんぱん娘」の3人衆が、みんなの大好きな「あんぱん」を配布し、肌寒い中ではありましたが、楽しく盛り上がることができました。

2日目午後4時から、このイベントに関わった多くの方々に参加いただき、これからの天神山について、そして来年の文化祭でやってみたいことなどについて、皆で夢を語り合いました。

地域の皆様をはじめ、たくさんの方々に来ていただき、本当にありがとうございました。これからも、地域の宝、緑あふれる天神山を盛り上げていきましょう!!



うわさんぽ



喫茶天神山



地域の特産品紹介と提供



北海道大学「ビッグバンド北極」



配付した「あんぱん」と南平岸地区「あんぱん娘」3人衆